JA とまこまい広域

SANSAN 光り輝く

【穂別】JAとまこまい広域青年部穂別支部〜地域のまつりを盛り上げる〜

第41回むかわ町穂別流送まつり

ハスカップの果実

農家おすすめ、素材を味わうシンプル野菜レシピ

②調理時間 20分

JAながの女性部(長野県) が作りました!

追加の一品に♪ 甘さがおいしい

ニンジンと

ツナの炒め物

味つけは白だしだけのシンプル レシピ!ニンジンの甘さとツナ の相性がたまりません♪



材料 (2人前)

- ・ニンジン 1本
 ・ツナ缶 1缶(70g)
 ・白だし 20cc
 ・油 大さじ1
- 01 ニンジンは皮をむき、千切りにする。
- 02 フライパンに油を入れ、ニンジンを炒める。
- ロ3 ニンジンがしんなりしてきたら白だしとツナ缶を加え、 軽く炒めて出来上がり。







ワンポイント!

ニンジン本来の甘みを味わうために、味つけは控えめにするとgood!たくさん作っておけば、作り置きおかずとしても重宝します。

メールアドレス info@ja-tomakomaikouiki.com かームページアドレス http://www.ja-tomakomaikouiki.com



No.261 CONTENTS

- 特集 JAとまこまい広域青年部穂別支部 ~地域のまつりを盛り上げる~
 - 第41回むかわ町穂別流送まつり
- 03 カメラレポート
- ·新規就農、ブロッコリー栽培に挑む 栽培管理など苦悩の末、いよいよ収穫開始
 - 追分地区に農産物集出荷貯蔵施設 新築工事始まる
 - 農産物の一時保管先として活用
- 新規就農者との交流を図る 圃場厚真町豊丘地区
- 理事会報告
- 期待の農力 藤本貴則さん
- ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- JAバンク北海道 JAネットローンキャンペーン
- 裏表紙 農家おすすめ、素材を味わうシンプル野菜レシピ



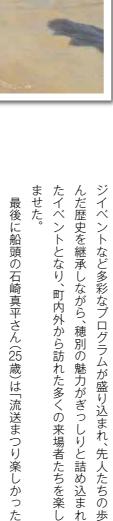
7月上旬出荷最盛期を迎えたハスカップの 果実。広報誌「燦々」6月号No.259の表紙を 飾ったハスカップの花ですがようやく出荷と なりました。6月号でご紹介しましたが、二つ の花から一つの実を付けるハスカップ。「愛 の契り」という花言葉を持ち、7月7日の七夕 がハスカップの日と定められています。



▲丸太切り競技で奮闘した青年部穂別支部



▲全力を出し切り、川の中に倒れ込む



は優勝できるように体を鍛え直してきます。また、農作業が忙し することで、不安を自信に変えていくことができました。結果、 緒に参加出来たからだと思います。初めての川での船頭、不安に です。競技が終わった時にそう思えたのは青年部の皆さんと一 最後に船頭の石崎真平さん(25歳)は「流送まつり楽しかった

青年部穂別支部の盟友達が、連続優勝を目指して情熱を注ぐ ース・デイ」は8月末頃の放送



思っています。今回の流送まつりも様々な企画が組まれていま 伝統をこの先の未来につなげることが、私たちの使命であると

7月20・21日の2日間、穂別ふれあい公園をメイン会場に第41

す。お時間の許す限り、穂別の夏を満喫してください」と挨拶し

したもので、人の背中の上を船頭が竹竿を巧みに操ってバラン 木材を搬出する手段として用いられていた原木流送をアレンジ

同まつりの目玉イベントである全道人間流送競技は、かつて

今回、青年部穂別支部は練習から本番に至るまでの様子をT

番組「バース・デイ」から密着取材を受

含む一般部門9チ

ム、混合部門3チ

ム、合計12チー

ムが参

技には「JAとまこまい広域青年部穂別支部」や町内の高校生を

天候に恵まれ、5年ぶりに川での開催となった21日の流送競

足の感覚が中々戻らず、息ができなかった。これを何回も練習は 速くて何が起きているのか分からなかった。走り終わった後は

、自分にも出来そうだと思って

いた。実際に参加してみると、

BS担当者からは「遠目から見て

いた分に

できない」と競技の難しさを体験した。

加。一般の部に出場したJA青年部チー

ムは第2位とあと一歩

たちに川辺で応援する観客からたくさんの拍手と声援が飛び のところで、優勝を逃した。全身ずぶ濡れで競技に臨んだ参加者 会場内では穂別特産の「ほべつメロン市」や北海道鵡川高等学 また同日に開催された丸太切り競技においては、12チ JA青年部も出場し、惜しくも優勝を逃したもの

JAとまこまい広域 移動理事会開催

JAの理事会は、年に一度本所を置く厚町にある穂別恐竜博物館を見学した。同の増収試験圃場を視察したほか、むかれ理事会を穂別支所で行った。秋まき小妻JAとまこまい広域は7月17日、移動 企画し、各地区の施設見学や圃場などの 真地区以外での支所持ち回りでの開催を 年に一度本所を置く厚 むかわ 移動

が土中の肥料をいつでも利用できる状態ことから、こまめに施肥することで作物CECが低く保肥力に乏しい地域である 当管内は1739年頃の樽前山噴火の影追肥試験の経過報告を兼ねて行われた。 視察を行つ 響により未熟火山性土が多く 今回視察した圃場は、 健全な生育による収量増加 る 少量・多回数の 、見られ、

地域の話題を

パチリと



地区を含む当JA管内全域に広げ実施して厚真地区で行われ、翌年から穂別ら東京農業大学と当JAの共同試験とを狙っている。同試験は令和4年度か る

試験圃場ではJA担当職員から、



6年連続

広域

地区優勝を逃す 0)

雨の中、死闘繰り広げるも初戦敗退

7月6日にほくでん伊達スポーツ公園 でホクレン苫小牧支所を下したJAむかでホクレン苫小牧支所を下したJAむか でホクレン苫小牧支所を下したJAむか でホクレン苫小牧支所を下したJAむか でホクレン苫小牧支所を下したJAむか でホクレン苫小牧支所を下したJAむか でホクレン苫小牧支所を下したJAむか わとの初戦を迎えた。

[JAむかわとの試合]

点を失って 塁にランナー 初回の てしまう。その裏の攻撃では、ムランを放たれるなど一挙に4マウンドに立つ開米投手は、2 を置く場面で4番の開米



見せる。

が、千葉選手のソロホームランで撃で3点を失い点差を広げられて

ムランで粘りを

葉選手の2塁打と高橋選手の

2回表を0点に抑え、

裏の攻撃では千

点差に迫る。

しかし、

を広げられてしまう、3回表の相手の攻

回コールド5対4で敗戦となった。手も好投を見せるも追加点を奪われ、

なを見せるも追加点を奪われ、54回からマウンドに立つ畠山投

千葉選手

駒を進めた。 対4でJAむかわが競り勝ち全道大会へ対4でJAむかわが競り勝ち全道大会へ

決勝はJAむかわとJAとうや湖。

2回 1回 4回 5回 0 3 2 5 JAむかわ 4 2 0

ホクレン苫小牧支所との準決勝



合計 14 JAとまこまい広域

クと打者有利のカウン選手に打席が回る。3 トライ

▲盗塁阻止を図るが惜しくも失敗に終わる

▲麦の実入りを確認する理事たち

バットド

ムランを放ち2点を自らの

の中

ットで返した。

別地区の気候の特徴や現在の生育状況 からは「止葉期での葉色値はどのくらいだったのか」「しっかりとした麦に出来上がっている」など様々な質問や意果上がっている」など様々な質問や意見が挙がった。

行われる農業総合研修会の中で報告予 定となっている。

▲トラックに積み込み畜産農家の元へ

副産物の稲わらを畜産農家 へ販売

広域

良質米生産を第

一に掲げ、

耕畜連携し循環型農業

同組合では平成22年から稲わら搬出によ から稲わらを搬出し「乾田化」を図るこ る耕畜連携を図っており、 への出庫が7月6日をもって終了 効利用組合は、 とで良質米生産を目指している。 JAとまこまい広域のあつま稲わら有 6月から始まった取引先 収穫後の水田 水稲作 した。 ルから大きく増加した。

材として飼料や堆肥のほか敷料として同 付けを多く占める厚真町では農業者に JA管内の畜産農家へ販売している。 よって同有効利用組合が設立され、 令和5年産実績では560口 ル/300㎏)、 昨年の493ロー 副資

勢の中で、 たい」と要望が上がる。 のであれば、もっと購入し 購入する畜産農家からは な費用が値上がりする情 「まだ稲わら口 水稲や畑作・ 稲わらロー 畜産など多 ルがある ルを

きたい。 ないため、 で連絡頂きたい」と話す。 味がある生産者は農協ま 拡大に向けて取り組んでい 内で搬出している件数が少 り組みにおいて注視した きるものであり、今後の取 の耕畜連携の取り組みは組 合員へ大きな還元が期待で る当JA管内において、 岐に渡る生産を基盤とす また担当者は「まだ管 稲わらの搬出に興 今後面積の維持

農繁期の束の リフレッシュ 間

女性部日帰り研修(たんぽぽ

女性部

開

むことができ2年前にも訪れて 果物狩りを時間無制限、 め、色々な果樹を栽培している。また、面積と収穫量を誇りさくらんぼをはじ を訪問した。 員11名で仁木町のさくらんば山観光農園性部早来支部は日帰り研修を実施し、部7月12日(金)JAとまこまい広域女 この農園は、全道一の敷地 食べ放題で楽し

▲砂川 SHIRO (たんぽぽの会)

部たんぽぽ

の会は、部

ぼをもぎ取ってい ら、お土産用のかごいっぱいにさくらん由に散策し様々な品種を食べ比べしなが由に散策し様々な品種を食べ比べしなが当日は、晴天に恵まれ広大な敷地を自

SHIR〇砂川本店を訪れた。

RO砂川本店は、

化粧品の製造

工場見学やオ

員7名で日帰り研修を実施し砂川市の

粗飼料など様々

農繁期の束の間の再会に会話の花を咲かメニューに舌鼓を打ちながら、部員達は元の野菜をふんだんに使用した食べ放題昼食は、農村公園フルーツパークで地

る施設がある。この の香りを作る体験、 販売をしており、エ



昼食は、

内の岩瀬牧場が経営する

のチョークボードもあり、楽しい時間を空中で遊べるジャングルネットや壁一面だったが、施設内にはキッズスペースや参加した部員は「子供を連れての参加

設を目指して

いる。

根差し、地域環境に配慮した循環型の施跡地を利用し門柱を残すなど地域社会に

工場」という名称で、砂川市の小学校の

この施設は、

の施設は、「みんなの、カフェなどが楽しめ

包まれリフレッシュできた」と話してい共に過ごせた。工場内の心地良い香りにのチョークボードもあり、楽しい時間を

▲さくらんぼ狩り(女性部)

▲生育状況を視察する参加者

感では確実に温度が下がっており作業性

一夕を比較したわけではないが、

いて細霧冷房を設置した生産者から「気

閉会式では、北海道での暑さ対策にお

も増した」と情報交換が行われ同研修会

早来追分

の2日間に渡り、通常開催された。 かまつり」が7月6日(土)・7日(日) 安平町ときわ公園で「あびら夏!うま

ラムジンギスカン、アサヒメロン等の特 行われた。また農畜産物販売では、味付 産物や地場産野菜を販売。会場内には、 北海道大学、縁、による「YOSAKO-催による「アサヒメロン早食い競争」や、 外の方にも恒例行事として定着して 同まつりは今年で第16回となり、町内 今年も、 ラン演舞」など数多くのイベントが 青年部追分・早来両支部主

_{地域の話題を}

パチリと

等、 う姿が見られた。 もあり、四苦八苦していた。 青年部追分支部によるアサヒメロン販売 売から味付ラムジンギスカンへの変更や が設けられ、 「味付ラムジンギスカン焼肉コー とう米を使用 初の試みが多かったが悪天候の影響 女性部早来支部によるたん したおにぎりと一緒に味

約 1 祭では中西圭三さんとゴー られ、安平の夜空を彩った。2日目の本 ち上げ前には雨も上がり、 の内に幕を閉じた。 のタレントショー げ花火の開催が危うい状況だったが、打 200発の花火が盛大に打ち上げ などが行われ、大盛況 ☆ジャスさん 無事に成功。



例年のはやきた和牛販

今年はあいにくの天候となり、打ち上



追分青年部 メロン・カンロ即売会

05

〜天候に恵まれた1日〜

気の高いイベントとなって 目的として開催しており 物を通じ地域住民との交流を深める事を が開催された。同即売会は地場産の農産 追分支部による「メロン・カンロ即売会」 7月13日、追分支所駐車場にて青年部 地域住民に人

から開店を待つ来場者の行列が出来て 開催当日は天候に恵まれ、 販売開始前

今回は追分特産品の 「アサヒメロン」

É

▲高品質なアサヒメロン



ては、天候不良の影響もあり客足 「カンロ」を合わせて87箱を用意。 りましょう」と挨拶。 和になったことを大変嬉しく思 は無事天候にも恵まれ、即売会日 も慌ただしい1日だったが、今年 も思いの外少なく、 菅原修介支部長は「昨年に関し 一致団結し完売目指して頑張 作業に関して

多く、用意した商品は次々と売れ 共に販売がスター ていき見事完売し、 人や知人に地方発送するお客様も 定刻になり菅原支部長の合図と 大盛況の内に した。 特に友



今年も多くの来場者で まるごとほべつフェア開催

にぎわった

生産者が集い技術や情報交換を行う

厚真町で開催

全道力

-ション部会現地研修会

ア」が開催された。 さっぽろ店主催の「まるごとほべつフェ アザ光の広場の特設会場では、イオン新 6月28日~6月30日の3日間、サンピ

体ら約5名が参加した。同研修会は、毎開催し、各産地から生産者並び各関係団

部会は7月5日、厚真町で現地研修会を

北海道花き生産連合会カー

ネーション

年道内各産地が持ち回る形で開かれる。

開催に当たりカー

ーション部会の大

捕雅寿副会長は「今年も猛暑の予報が発

表されており、

品質の低下や開花促進に

わっている。 的で始まり、毎年多くの来場者でにぎ 穂別地区の特産品をPRしようという目 今年で20年目を迎えたこのイベントは

▲全道カーネーション部会大捕副会長の挨拶の様子

客さんに見ていただき、注文を受けてか れなどで終始にぎわっていた。 た穂別地区の特産品が陳列され、家族連 なんばん、山わさび、長芋、小松菜といっ つメロン」やほべつカンロ「ともり ら産地直送という形で開催され、「ほべ 混雑を避けるためにサンプル商品をお 3日間で

▲多くのお客さんでにぎわいを見せる会場内

ればと思っています」と挨拶した。

んの圃場を視察した。参加者たちは、

主

今回の研修会では厚真町軽舞地区の桐

木洋光さん、

大捕雅寿副会長、

斉藤仁さ

研修会は多くの関係者が参加しています 習得など多くの課題が山積みです。この す。この暑さに対応する栽培管理技術の より出荷前倒しとなることが予想されま

ので、この機会に様々な情報交換ができ



320万円を販売

果リピーターも多く、 これからも継続して に応えられるよう、 定着している。期待 にしている。その結 のイベントを楽しみ は「消費者は毎年こ いきたい」と話した。 一大イベントとして



伺える」と講評した。

光資材を導入しており品質向上の意識が 必要になってくる。厚真では試験的に遮 猛暑日が増えてきているため暑さ対策が

ンターの大宮知主査は「丈の長さなど いた。研修を終え最後に花・野菜技術セ ションを見学し、疑問点などを質問して に7月から9月に出荷されるカー

しつかりと揃っていた。

しかし北海道も

▲旬のほべつメロン等が並んだ

最後に農協担当者

新規就農者との交流を図る

圃場厚真町豊丘地区人



▲圃場見学でアドバイスを受ける様子

厚真町豊丘地区農事組合と胆振農業改良普及センターへ就任。 東胆振支所は6月10日、新規就農者の圃場見学と交流会 を開催し約30名が参加した。普及センターは地域の栽培 技術指導のほか、地域のコミュニティを維持のため、新規就 農者を積極的に受け入れてきた豊丘地区と2016年から 長期に渡り収量増加に向けて作物ごとに試験を行うなど 深く関わっており試験結果報告を毎年行ってきた。そして 今回は交流をメインとした本取り組みを初めて実施した。

今回の見学先は、今年新規就農を果たしたカンボジア 出身のセイン・ソヘンさん(41歳)の圃場。経営概要などを 報告した後、収穫終盤を迎える春イチゴ(品種:けんたろ う)3棟と7月から収穫を迎える四季成りイチゴ(品種:すず あかね)3棟を見て回った。その中で、これから迎える夏の 暑さ対策として「どのように温度を下げればよいか」という 質問に対し、「送風機を付けてはどうか」など様々なアドバ イスが送られた。

続いて行われた昼食を兼ねた交流会では、中島佑太農 事組合長は「私も含め、この豊丘地区には新規就農者を多 く受け入れてもらっています。これも豊丘地区の皆様のお かげだと思っています。これからも新規就農者へのご指導 など宜しくお願いします」とあいさつした。中島組合長は 2018年に新規就農を果たし、今年から同地区農事組合長

農業の先輩からは「営農をはじめて間もなく分からない ことがあると思いますが、色々と相談してもらって良いので 頑張って下さい とエールを送る場面も見られた。今年就 農したセインさんは「このように交流の場を設けてもらった ことで、すぐに聞きに行ける環境を整えてもらってとてもあ りがたいしと話す。また昨年新規就農した山中輝夫さんは 「忙しい時でも圃場を見に来てくれたりと、農家の方々が見 返りを求めないことに就農当初は驚いた。自分もこの精神 を次に就農する方へ繋げていきたい」と話してくれた。



新規就農、ブロッコリー栽培に挑む

栽培管理など苦悩の末、 いよいよ収穫開始

本年4月厚真町富野地区に埼玉県出身の志賀裕一さん一家が新規 就農を果たした。志賀さんは、ブロッコリー1haに加えホウレン草5棟、 カボチャ1haを栽培する。

昨年まで厚真町農業扣い手ヤンターで3年間農業の知識習得に励 み、同センターの農場でイチゴやホウレン草・カボチャ、ブロッコリーな



▲収穫作業風景



どの栽培を実践的に学んだ。6月25日から手塩にかけて育 てたブロッコリーの収穫をようやく迎え、JAの選果場へ原 料を持ち込んだ志賀さんは「初日の製品率は全てがA品と なりホッとしました |と安堵するも「ブロッコリーの生育がバ ラバラで栽培の難しさを痛感しています」と話す。

「本当はもっと遅い出荷を予定していましたが、部会の方 から催芽機を頂いたことで、早期出荷することができまし た。また近隣の方々にも作業する上で必要な道具などを貸 してもらいながら、なんとか農業ができています」と志賀さん は人との繋がりの大切さを改めて実感していた。

7月・8月とこれから迎えるブロッコリー出荷最盛期に加 え、今後のカボチャやホウレン草の収穫と忙しい日々に奮闘 する志賀さんのこれからの活躍に期待したい。

追分地区に農産物集出荷貯蔵施設新築工事始まる 農産物の一時保管先として活用

JAとまこまい広域は7月11日、安平町追分地区で農産物集出荷貯蔵 施設の地鎮祭が行われ、宮田広幸組合長をはじめ関係機関ら36名が参 加し工事の安全と建物の無事完成を祈願した。近年カルビーポテト(株) との取引の増加により加工用馬鈴薯の作付けが急増したことを受け原 料の一時保管庫の整備が急務となっていた。また米麦製品保管としての 用途も加え多目的に利用できる施設がようやく地鎮祭を迎えた。

施主挨拶で宮田組合長は「この施設が完成することで、生産者の生産 拡大で農業所得の向上に繋がることを確信しております」と話した。また 来賓挨拶で及川秀一郎安平町長は「加工馬鈴薯の栽培は平成29年に3



▲宮田組合長の玉串奉璽の様子

件0.6haから始まり、 100haを超え、急増



▲地鎮祭での切麻散米の様子

しているとお聞きしていましたし、また米などの保管も含め多目的に利用できる施設 ということで、安平町としても一緒に農業を盛り上げていければと思っています」と

同施設は延床面積945㎡の鉄骨造・平屋建て(システム建築)、総工費2億1600 万円で安平町よりご支援を頂き建設となった。工期は令和6年8月1日より着工し、翌 年の3月31日の完成を予定している。





貴則さん(32歳) 厚真町豊沢

就農のきっかけ

きなかったことを受け「今年こり、コリーが中々上手く出荷で見見さんは、昨年の猛暑でブ

防除などこまめにするようにしロッコリーを出荷するために、

しっかりと暑い時期でもブ

います」と意気込んでいた。

培管理する。

**?をナ継いできた農地を守家の魅力を肌で感じるようになたのかと思い感心した。そこて崖なにナダナ を手伝った記憶があまりなく、もの野球に打ち込んでいて、農作業 少しずつ手伝うことが増え、こん た」と話す。しかし「社会人になりともと跡を継ぐ気持ちはなかっ なに大変な仕事を両親が 貴則さんは「学生時代は部活動

運転に苦労しました。真っ直ぐくと「トラクターや田植え機の就農して苦労したことはと聞

響するので緊張しながら運転しに走らせないと品質や収量に影

当時を振り返った

今後の目標

りました」貴則さんは話す

当時の気持ちを話

ました」と恥ず

今ではGPSに

よる自動操

楽に

や収量の増加。そして一人前になりた があれば規模拡大をした貴則さんは最後に「チ まずは父から知識や技術を学ん して省力化・軽たい。また品質

る。厚真高校を卒業後、苫小男として厚真町に生を受けさんと母の奈穂子さんの長藤本貴則さんは、父の裕一 と母と貴則さんの3人で薯、ブロッコリー、小豆を に秋小麦、大豆、てん菜、4年目を迎えた。今年は め新規就農を果たし今年で牧の自動車関連企業に11年勤

実際に就農し

なる貴則され

れた。 の収していきたい」と話してく 多いが徐々に父の仕事を自分に こともあり、分からないことが こともあり、分からないことが 来ることを考えながら行っていわったことで少しずつ自分が出 今年から経営移譲し 7年から代し1年目と

理事会報告

令和6年7月17日(水)に総合営農センターで第7回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- 1. 一般報告と当面する諸行事について
- 2.5月・6月末財務報告について
- 3.7月1日現在の農作物生育状況報告について
- 4. 組合員の異動について
- 5. 固定資産の取得、処分について
- 6. 「固定資産・車輛確認」「支所の日」の開催結果について
- 7. 組合員訪問の実施について
- 8. 休暇応援副業制度について
- 9. クミカン等の配布対応について
- 10. 追分地区農産物集出荷貯蔵施設建設に係る指名競争入札結果について
- 11. 穂別格納庫火災に係る倉庫建設見積合わせ結果について
- 12. 第23回総代会議事録の訂正について
- 13. 共済一斉推進結果について
- 14. 令和6年度JAとまこまい広域正組合員一戸複数加入推進要領について
- 15. 令和6年度生産調整実施計画について
- 16. 令和6年度米・大豆の出荷契約と7年産小麦の播種前契約について
- 17. 令和6年度家畜共進会・共励会の結果について
- 18. 次期「拓能及び肉用牛生産の近代化に関する基本方針 | 策定に向けた意見集約について



1. JA北海道大会組織討議について





- 令和6年度米乾燥調製施設自主検定員の選任について
- 令和6年度麦乾燥調整施設自主検定員の選任について
- 令和6年度大豆乾燥調整施設自主検定員の選任について
- 従たる事務所(上厚真事業所)の廃止について
- 福利厚生規程の一部変更について
- 議案第6号 出資の減口と譲渡について
- 議案第 7 号 理事への貸付について



さんさん あぐり講座

ブロッコリー 黒すす病対策を しましょう

胆振農業改良普及センター東胆振支所

1 黒すす病の特徴

黒すす病は、Alternaria brassicicola、brassicaeが病原菌です。葉には、黒色の小班点を生じ、拡大する と褐色の輪紋状の病斑を生じ、病斑の周辺は黄化します。花蕾には、黒色の小班点を生じ、拡大すると黒褐色に 腐敗します(写真1)。

湿度の高まる晩夏以降に発生しやすくなりますが(図1)、今年はすでに葉での発生が確認されています。特 に、台風や長雨後に被害が拡大します。



写真1 黒すす病の症状

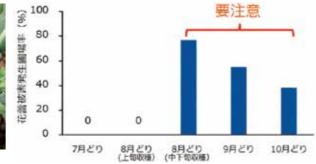
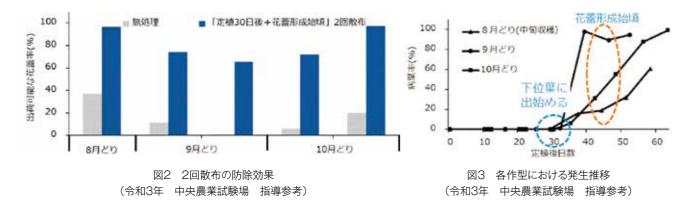


図1 黒すす病の作型別発生状況 (令和3年 中央農業試験場 指導参考)

2 防除のポイント

定植30日後と花蕾形成始頃の2回散布をすることで高い防除効果が得られます(図2)。花蕾が見える頃には 葉での発病が増加します(図3)。そのため、葉での発病を少なくし、花蕾を病原菌から守ることが重要です。黒す す病と同様に花蕾が腐敗する花蕾腐敗病とは防除薬剤が異なるので、注意しましょう。

収穫後の残渣はできるだけ速やかにすき込みましょう。残渣を放置しておくと、収穫中や収穫前の近接ほ場へ の伝染源となります。



農薬散布時は必ずラベルを確認し、基準を守って散布を行いましょう。

ワンポイント営農情報

今いる地点、知りたい地点の気象がわかる 「デジタルアメダス」のご紹介



気象庁からの提供により、気象衛星などを活用して、現在地や自分の好きな場所(自宅・畑な ど)の地点の積算気温や天気等をスマートフォンのアプリで確認ができるようになりました。

これまでの「アメダス」は観測機器の設置してある地点のみ確認可能でしたが、「デジタルア メダス |は観測機器が無い市町村に加え、スーパーコンピューターで予測することで、任意の地 点から1キロ四方でほぼ正確な情報を得ることができます。





JA日誌

2024 8月

16日金

17 ∃ ±

18 ⊞

19日月 厚真支所組合員訪問

20日火 第8回理事会、ホクレンとの意見交換会

21日水 日胆地区常参会冠レース(門別)、たまや産地訪問

22日 木 2024日胆畜産共進会(乳用牛の部)

23日金 大卒採用試験(苫小牧)

24日生 准組合員イベント 秋のいも掘り体験

25日日

26日 第2四半期事業ヒアリング~27日

27日火

28日 水 中堅層職員研修 II ~30日(JAカレッジ)

29⋴★

30日 第33回北海道肉用牛共進会~31日(十勝)、第2四半期定期監事監査(9月2日・3日)、むかわ町復興応援フェスタ(四季の館)

31日 生 たるまえサンフェスティバル~9月1日

2024 9月

1日日 札幌厚真会

2日 月 課長研修 I ~ 4日(JAカレッジ)

3日(火) 監事と常勤理事意見交換会

4日水

5日 木 第2回管理委員会及び生産委員会

6日 金 JA防災の日、JA中央会 樽井会長来所

7日 土 厚真町胆振東部地震追悼式

8∃⊕

9日月

10日火

11日 水 ホクレン肉牛市場、広域年金友の会パークゴルフ大会(穂別)

12日(木) 第9回理事会

13日金 ホクレン乳牛市場

14∃ ±

15日 🗐

職員異動

依願退職 お疲れ様でした

7月25日付

金融共済部 佐々木 梨乃 平成28年4月1日入組 共済部共済課係、金融共済部共済推進課係、 同部共済課主任を務め依願退職。

当JA広報誌No.259の6月号でP8に掲載された、令和6年 度JAとまこまい広域 生産組織、組織代表者及び事務局担当 者名簿の広域いちご部会の副会長に誤りがありましたので、 以下の通り訂正しお詫び致します。

【誤】小林 広和 → 【正】佐伯 修一

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

13

| | 享年 | 氏 名 | 地区 | 月日 |
|----------------------|----|---------|------|------|
| | 84 | 高橋 節子さん | むかわ町 | 6/25 |
| | 88 | 上村 正勝さん | 白老町 | 6/27 |
| 白老支所竹田地区 担当理事 ご尊父 | 86 | 竹田 忠男さん | 栃木県 | 7/14 |
| | 89 | 佐藤ミツヨさん | むかわ町 | 7/18 |
| | | | | |

ホクレン南北海道黒毛和種市場

広域農協支所別取引成績(7月)

令和6年7月10日

| | 性別 | 成立頭数(頭) | 価格平均(円) | 平均日齢/体重(kg) | 平均kg/単価(円) |
|--------------|----|---------|---------|-------------|------------|
| 白 老 | 去勢 | 25 | 592,200 | 1.195 | 1,709 |
| | 雌 | 17 | 462,471 | 1.059 | 1,454 |
| 苫小牧 | 去勢 | 4 | 613,000 | 1.209 | 1,768 |
| | 雌 | | | | |
| 早 来 | 去勢 | 31 | 536,903 | 1.141 | 1,581 |
| | 雌 | 19 | 444,737 | 1.042 | 1,384 |
| 厚真 | 去勢 | 14 | 557,643 | 1.191 | 1,586 |
| | 雌 | 23 | 492,304 | 1.053 | 1,513 |
| 穂別 | 去勢 | 18 | 546,056 | 1.215 | 1,609 |
| | 雌 | 20 | 457,350 | 1.049 | 1,421 |
| 追分 | 去勢 | 3 | 550,333 | 1.204 | 1,489 |
| | 雌 | 4 | 474,500 | 1.038 | 1,378 |
| とまこまい 広 域 | 去勢 | 95 | 559,874 | 1.181 | 1,626 |
| | 雌 | 83 | 466,024 | 1.050 | 1,443 |
| 胆振管内 | 去勢 | 194 | 568,139 | 1.171 | 1,669 |
| | 雌 | 137 | 480,307 | 1.062 | 1,483 |
| 市場計 | 去勢 | 869 | 546,085 | 1.139 | 1,629 |
| | 雌 | 682 | 443,350 | 1.028 | 1,414 |